

この幼稚園では、園の裏にある小野神社から道風神社にかけての森とその中腹から明るく広がる段々畑がフィールドです。森の中は歴史を感じる神秘的な雰囲気醸し出されているのに対して、扇状に広がる段々畑は、見晴らしがよく、また違った景色が広がります。

プログラムを作る前に下見に行きました。



ススキやヨモギ、ドクダミ、ヒノキ等のおいをかいたり、ルーペで観察したりしました。ススキの草笛にも挑戦しました。



森の中では不思議を発見。竹林では竹を何本囲めるか？段々畑では地形を利用してのかくれんぼ。それぞれの場所のできる楽しいあそびをし、支援者の五感を呼び覚まし、プログラム作りをします

「段々畑のおくりもの」のプログラム

あらかじめ準備しておいた段々畑にある植物（ドクダミ、モミジの葉）を支援者が見せ、同じものを探しながら上に登っていきます。



草の上だと歩きやすいよ！

ここだったら、下がグチグチと違うから跳べるで！



足がぬけないよー。

足がぬけなくなった。雨がふったら、土は強いんやなー！

同じ花見つけたよ！



花を探しながら登っていく途中で、「ザリガニ見つけた!!」「この花10円玉のにおいがする」など様々な気づきや発見がありました。段々畑であそぶ楽しさを知るプログラムでした。

「森の大工さん」のプログラム

森の中で動物たちの家を作ってほしいという手紙を見つけてました。

葉っぱで屋根を作るうよ！



葉っぱの下だと濡れなかったもんね！



雨で土が軟らかくなっているから、木がささりやすいや！

キツネのしっぽまで、入るぐらい大きな家を作るよ！



リスさんが濡れないように葉っぱで屋根を作りました。



動物たちの気持ちになって、家をつくることで、自然物や生き物を大切にすることに気づくプログラムでした。園に帰ると、動物たちから「ステキな家をありがとう」というお手紙が届いていました。

「宝の葉っぱを探しに行こう！！」のプログラム

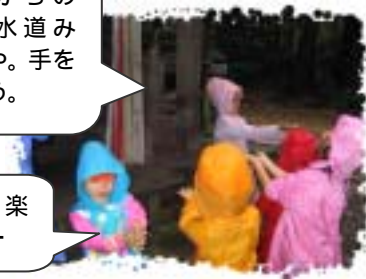
おさるのモンタから「宝の葉っぱを探してほしい」という手紙をもらいました。宝の葉っぱを探しに、急な斜面を登ります。



モンタが食べた後じゃない？



屋根からの水が水道みたいや。手を洗おう。



雨で、キラキラひかっている葉っぱを見つけたの。宝の葉っぱじゃないかな？



いいにおいの葉っぱを見つけたよ！

雨って楽しいなー

斜面を登り切ったときは別世界が広がっていました。自然の中で全身を使ってあそんだり、様々なイメージを膨らませたりすることで、自然の大きさを全身で感じ取るプログラムでした。

参加された先生の声

子ども以上に感動した。雨を子どもたちに感じてさせていなかったことを反省した。自然の中で子どもたちは感動したことを素直に言葉にしていた。自然の偉大さを感じ、子どもたちが心身共に育つことがわかった。

思っていた以上に子どもたちは体力があった。知らず知らずのうちに過保護になっていた。

同じ場所でもいろんな体験ができることがわかった。年間を通して計画を立てて、この経験を活かしていきたい。

Q & A

(解答：講師 島川武治(しまっち))

Q: 「ぬかるみ」に入ったとき、いつ支援しようか迷ってしまいました。どんなタイミングで手をさしのべたらいいのでしょうか？

A: 個人の体力的な能力に応じて個々の支援が必要でしょう。すぐに手助けをするのではなく、一歩待ってみてください。子ども同士で助け合うかもしれないし、何とかしようがんばるよう声かけをしてあげてください。目安としては声かけをしても、反応がなかったり、ぬかるみから抜け出ようとする気力がなかったりすれば、直接的な手助けを行ってみるとよいでしょう。